Yahoo!ジオシティーズサービス終了のお知らせ

圧巻の山盛り。この旨さでこの価格は驚き！
くら寿司
12月7日（金）から期間限定で圧巻の'山盛りかににぎり'を販売。この旨さでこ…
Ads by Yahoo! JAPAN

08年伊勢湾逆打ちグルメジャーニーラン

TEXT版へ

2008. 2. 10

2日目　（のうみそジャーニー）

2日目の行程は48キロ。ホテルで朝食（といってもパンとコーヒーだけ）を用意してくれるので、食べてから7時スタート。昨日の雪が凍って、ホテルの敷地から公道に出るところがいきなり大変。今日はす−。さんが松坂駅に7時11分着で追いかけてくるので、会えるといいなあ。約20名の参加者が数グループに分かれながらもほぼ一緒に前後しながら進んだ。気づくと回りは関西勢。タコ嬢は昨日朝から飲みっぱなしだったのに、完全に抜けて元気だ。つきあわされたおっちゃんのほうが二日酔いらしい。このグループはおかげ横丁でゆっくり食べたいからと、けっこう飛ばしていた。スタート時寒かったが、汗が出てきた。

CP1は信楽寺の仏足跡。7：22。山門を入ってすぐの左側にあった。道の端にはまだ雪が残る。車が来ると雪のあるほうによけなければならない。屋根からときどきドサッと雪が落ちてくる。

橋の上から遠くに雪山が見えた。鈴鹿かなあ。このへんの地理はわからない。カシミールで調べればよいのだけど。次のCPは外宮まで四里の道標。7:45。市街地を離れたが、このあたり街道沿いは連子格子の古い家並みが続いている。

どの家の玄関にも、正月飾りのようなのが掲げられている。「笑門」と書いてあり、これを1年中飾っておく風習で、正月に新しいのと替えるそうだ。関西の旧街道は道の形状だけでなく、家並みもそれっぽいから面白い。三重県は関東人には関西地方に思えるが、関西人にとっては東海地方だとのこと。近畿と関西の違いも関東人にはよくわからない。

CP3も道標だが、工事で移設中？土手の下にあり、ロープでぐるぐる巻きになっていた。8:03。土手に上り橋を渡る。

CP4の竹神社は、伊勢の斎宮跡だ。境内は雪が多いので外から見ただけ。8:31。

このあたりも古い家並みが続く。どの家も庭木をきれいに刈り込んであり、そこに雪が積もってなかなか美しい。

1本道だった伊勢街道が現在の道に突き当たり右折すると、昔ながらの名物「へんば餅」屋がある。楽しみにしていたスイーツだ。

みんなで中に入ると、お茶を出してくれた。餡入り餅を焼いたのが「へんば餅」もう一種類、「さが餅」だったかな？こういうとき、一人旅じゃないのがうれしい。両方食べられる！ここはCP5だった。9:11。

合流した道から右に旧道が分岐。街中に入り、ちょっとわかりにくい曲がりが続き、土手の下に出た。目の前に階段があり、一人だったら土手に上るところだったがみんな下の道を右へ。線路をくぐってから橋に上った。伊勢の市街地も旧道は複雑だった。道草コースの月夜見宮に寄りたいの

で、寿司屋目当てに先を急ぐ関西組みと別れ、はしらんなーさん、A井さんと歩く。月夜見宮に10：15。静かでいい雰囲気。

この2人は歩くのがチョー速く、走らないとついていけない。参道を通ってCP6の外宮に。10：21。外宮の境内は広く、深い森の中だ。神馬舎があったがお留守だった。

本殿は参拝客で混雑していたので賽銭箱まで行かず、その奥の「平成25年」式年遷宮予定地を見て、出てくる。

外宮から内宮へは、住宅地の中、一山こえなければならない。そろそろ空腹になり、はやくおかげ横丁で食べたいが、この区間意外と長い。一人になったらどの店がおいしいのか分からないから、脚の長い2人の後ろをチョコチョコ追いかける。下り坂になるところにりっぱな常夜灯が2基もあった。下りきると、角が猿田彦神社。人通りがふえてきた。

参道は大賑わいだった。あきれたことに、問題の赤福は大行列。私も赤福餅は大好きだが、あのような餅がすきなので、赤福である必要は全然ない。どこがそんなに違うんだろう。土産用に3箱も4箱もぶら下げている人がたくさん。

A井さんの奥様も合流し、皆、迷わず「二軒茶屋」に入っていった。牡蠣がおいしい店とのこと。牡蠣雑炊定食を選んだら正解！牡蠣がごろごろ入っているし、大きな焼き牡蠣2個、サックリ揚ったカキフライ2個、牡蠣の時雨煮が付いてきた。これで1480円。

それから、何餅っていったか？自家製のお菓子もサービスだ。食べていたら、関西勢が入ってきた。お参りはまだで（行かないらしい）まず寿司屋でイセエビの乗ったにぎりを食べてきたそうな。そしてここでまた定食とビール。雑炊といってもボリュームたっぷりで満腹だ。

参道の雑踏を抜け、五十鈴川を渡って内宮へ。CP711：53。

ここも本殿は混んでいるので入らず、境内散策だけ。

参道を赤福本店まで戻り右折する。この参道が「おはらい町」で、途中から左に伸びるのが「おかげ横丁」。どちらも大賑わい。はしらんなーさん達より先に内宮を出たが、いろいろ試食している間に抜かされ、互いに気づかなかった。す−。さんともすれ違ったはずだが、気づかなかった。

赤福の行列の脇を抜け、五十鈴川を渡る。行列は橋を越え、対岸の土手にのびていた。そこらの人が2時間待ちとか言っていた。一人になったので地図をちゃんと読みながら行かなければ。運動公園を抜け、くねくねした細い道を行き、小さな川を越えたら向こうからがんちゃんが走ってきた。「す−。さんが会いたいっていってたよ〜、はしらんなーさん達といっしょに前にいる」とのこと。田んぼ道の直線に出たが、前方にはすでに見えない。私が前にいると思ってどんどん行ってしまったらしい。がんちゃんは誰かと約束がありもう少しバックする。前の3人を追いかけてちょっとペースを上げたが全然見えないまま、二見と朝熊の分岐にきてしまった。みんなは距離の短い朝熊コースなので、鳥羽で会えるかどうかだ。

CP8新七七原橋13:06。高速をくぐると広々したところになり、しばらく先の公園にトイレがあった。前方にオレンジのウインドブレーカーが見えたが、トイレに寄っている間に見えなくなった。

田んぼ道が続いたが、だんだん人家が増えてきて、二見の町に入った。土産屋や飲食店、旅館も増えてきた。CP9御福餅本店に13:42。一皿食べていく。店から出たところでNAMIさんに合流。フェリーまで一緒に走った。

二見が浦の海岸は夫婦岩などの大岩が点在し、風光明媚だ。水族館もあって、外の水槽で大きな黒いのが（アシカにしては大きすぎる？セイウチ？）泳いだり跳ねたりしているのがタダで見れた。

水族館の先で海岸を離れ車の多い道をしばらく行くと、CP10の伊勢まちかど博物館。14：39。真珠の博物館だった。立地も展示品も名前とはイメージが違う。また海岸に出たのでもうすぐかな、と思ったらまだ5キロくらいある。線路をくぐり、朝熊からの道が合流したらその先右折。一山越えて鳥羽の街に。コンビニで缶チューハイと酒買って、フェリー乗り場へ。

昨年の時刻表情報だと、とても半端な時間だ。真珠島の前を通り、鳥羽水族館まで来たが、乗り場はどこだあ～？道路標識に従っていったら、車の乗船口に出た。係員に乗り場を聞いたら、もう出航時間なので、このまま進み、中で切符を買うように、と。3時25分だったが、3時20分のフェリーに乗れた。が、待っていてくれたす-。さんに会い損なってしまった。

フェリーでは関西組みがすでに宴たけなわ。1時間弱で伊良湖に。

宿の料理は品数多く、新鮮でおいしかった。大アサリの焼いたのがめちゃくちゃうまい。カニもドーンと。このジャーニーランは、走って消費するカロリーより、グルメで摂取するカロリーのほうが多いといううわさだ。

前日へ　翌日へ　旅がらすの乱ラン欄8年2月へ　からっ風の丘からTOPへ
飛べ！旅がらすTOPへ

1億円の信用取引も格安手数料！
www.iwaicosmo.net
投資スタイルに合わせて選べる1ヶ月定額制のマンスリーコース／岩井コスモ証券

65歳からの肺炎予防。
www.haien-yobou.jp
平成30年度の定期接種対象者を公開中。あなたが対象かも。詳細はこちら

Ads by Yahoo! JAPAN